

平成29年第2回定例会を3月3日から28日までの26日間の会期で開催しました。

この定例会では、市長から施政方針の説明が行われ、これに対する各会派の代表質問を行うとともに、「平成29年度大阪府茨木市一般会計予算」などの議案、請願及び意見書を審議しました。

いばらき  
市

議

会

だより

No.222

平成29年(2017年)5月1日

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会

電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591

<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei/gikai/>

■ 目次

市長の施政方針に各会派が代表質問	2
市議会のうごき	5
一般会計予算質疑	8
平成28年度補正予算を可決	9
3月定例会議決結果	12
請願	13
可決された意見書	14
平成29年度当初予算を可決	14
2月臨時会議決結果	14
議会構成・会派構成	15



春休みこども環境(エコ)まつりで科学の実験を行う児童・生徒(いばらきスカイパレット)

# 市長の施政方針に 各会派が代表質問



市長の施政方針説明の際、手話通訳を実施しました。

3月3日に市長の施政方針の説明が行われ、これに対して、3月7日・8日に各会派が代表質問を行いました。  
主な内容は次のとおりです。

## 茨木市民フォーラム

小林美智子（質問者）  
桂 睦子 米川 勝利

### 駅前を市玄関口にふさわしい空間に

**問** JR茨木駅・阪急茨木市駅西口周辺の再整備については、駅ビル等の関係権利者の意思決定が主体となると思うが、玄関口をどう描くかが重要である。そのような状況の中、市はどのような空間が玄関口としてふさわしいと考えているのか。

**答** 本市の文化や魅力を象徴するだけでなく、多くの方が集い、活動し、それがどんどん広がっていくことを感じさせる、そのスタートとなる空間であると考えている。

### 障害者差別解消に関する条例制定は

**問** 障害者差別解消法が施行されたことに加え、平成29年度は茨木市障害者施策に関する第3次長期計画及び茨木市障害者福祉計画の最終年度でもあることから、条例については多くの対話を重ね、30年度の制定を望むが、制定へ向けた手法やスケジュールについてはどうか。

**答** 条例制定に当たり、障害者施策推進分科会に有識者や障害当事者、市民などを委員とする専門部会を設置し、さまざまな視点から議論を行い、平成29年内には案として取りまとめ、パブリックコメントを経て、30年3月議会に上程する予定である。

**本市農林業の推進は**

**問** 本市の農林業推進に当たり、農林業を多面的に捉えた「農林業振興ビジョン」の策定を望むが、現在の「農業振興地域整備計画」と「農業経営基盤強化促進構想」で十分であると考えているのか。

**答** 近年、ほとんどの農家が兼業農家となり後継者不足が進む中、農業者だけではなく市民の参加はもちろんのこと、環境問題や福祉との連携など、農業の果たす役割を広く捉えた多面的な計画が必要と考えている。策定に当たっては、大阪府が平成29年度に策定予定の「新たなおおさか農政アクションプラン」の内容も踏まえたものとした。



## 大阪維新の会

大野 幾子〔質問者〕  
塚 理 長谷川 浩  
萩原 佳 岩本 守

### 阪急・JR両駅間の一方通行化を

**問** より安全で快適、経済的でロスのない都市整備のため、阪急茨木市駅からJR茨木駅間の道路一方通行化を早期に実現してはどうか。

**答** 一方通行化は、歩行者、自転車、自動車の通行を分離し、安全性と快適性を向上させるだけでなく、道路空間を利用した活動を促し、沿道の賑わい創出にも寄与するとともに、まちなみ形成などに大きく関係するものと考えられる。しかし、その実現には、地元住民等の理解と茨木松ヶ本線の整備による交通量の変化を見極めることが必要と考えている。



府道枚方茨木線（駅前三丁目付近）

### 子育て支援サービスの選択肢拡充を

**問** 共働き子育て世帯にも、在宅子育て世帯にも、子育ての支援サービスの選択肢を増やして、日常的にも、いざというときにも、頼れる制度を構築すべきではないか。

**答** 次世代育成支援行動計画に基づき、保育の量的拡充や、集いの広場の整備を進めるなど、子ども、保護者の置かれている環境に応じた子育て支援サービスの充実を図るとともに、ニーズに応じたサービスを適切かつ円滑に利用できるよう、より身近な地域での利用者支援事業を実施していく。

### 幼児教育・保育の無償化を

**問** 子育て世帯の負担軽減、市外在住者の市内流入増のために、幼児教育・保育の無償化を実現すべきではないか。

**答** 国において、幼児教育・保育に係る利用者負担額の無償化が段階的に図られているが、限られた財源をどの施策に配分していくのか、ナショナルミニマム（※1）として実現すべき施策か等、施策・制度のあり方を含め検討する。

### 地産地消のさらなる推進を

**問** 食の安全・安心の確立、市民の健康増進のため、地産地消をさ

### らに進めるべきと考えるが、地元農業者に地場産品を生み出し続けていた

だくために、戦略的なPR、農業者のニーズ把握、使いやすい制度の構築をしてはどうか。

**答** 新規営農者への支援、都市住民や大学との連携等を引き続き行い、本市農業が持続的に経営できるよう、環境づくりに努める。また、農業者や農業団体とは、意見交換をし、地場産野菜づくりや加工品の生産を進めており、引き続きPR等にも努めていく。

### 税収向上のための手法は

**問** 本市の財政状況は、市税収入が多少増えているものの、インフラ整備や新しいまちづくりを楽観視できない状況が続く。国の補助金により、市税負担抑制を図っているが、いかに税収を生むかは市長の手腕にかかっている。市長の意気込みを問う。

**答** 本市の強みである「教育のまち茨木」の取り組みを進めることにより、子育て世代に住みやすさをアピールすることを基本に、北部地域の魅力向上をはじめとした「まちの価値を高める」事業に加え、企業活動の促進を図る事業の展開等、将来においてさらなる税収効果を生み出す事業の実施に努める。

## 民進ネット

田中 総司〔質問者〕  
安孫子浩子 稲葉 通宣  
友次 通憲

### 地域包括ケアシステムの構築を

**問** 地域包括ケアシステム（※2）の構築にかかると「在宅医療・介護」連携は喫緊の課題であり、推進のため、医師会との取り組みをスタートさせることは評価するが、この課題については、現時点でどのような取り組みが必要と認識しているのか。

**答** 市民が安心して地域で暮らし続けるためには、医療、介護等のサービスが切れ目なく提供できる体制の構築と、在宅療養に対する市民の理解が重要であり、本市の在宅療養支援を取り巻く医療・介護現場の実態把握や分析、課題解決策の検討が必要と考える。



イメージ写真

（※1） ナショナルミニマム：国が保障する最低限の生活水準

（※2） 地域包括ケアシステム：重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み

北部地域における公共交通は

問

新たなまちづくりが行われ、子育て世代の転入が進む北部地域の公共交通について、今後想定する交通機関の内容、便数の確保など利便性の向上についての考え方を問う。

答

地域の課題を踏まえ、実情に合った交通の導入が求められていると考える。新規開発地については、路線バスが担うものと考えているが、安定した需要の見通しや幹線道路の整備、モノレールとの連絡も考慮しながら、公共交通の利便性確保に努める。

彩都西部地区に交番設置を

問

彩都西部地区に警察官立寄所を整備することになったが、その施設の完成と開設時期はいつか。また、交番設置は地元住民の切実な願いであり、関係機関への提言、要請が必要ではないか。



答

警察官立寄所は、平成29年度中の完成を目標に建設を進め、施設完成後、速やかに開設する予定である。また、交番設置については、引き続き、住民や彩都建設推進協議会と連携を図りながら、大阪府警察本部に対して、粘り強く要望していく。

ユースプラザの意義と開設場所は

問

市長は、居心地の良い「第3の居場所」が広がるまちづくりが必要と述べているが、ユースプラザ(※1)はこれに当たると考えてよいのか。

日本共産党

畑中 剛 (質問者)  
朝田 充 大領さやか

子ども医療費助成対象年齢の状況は

問

子ども医療費助成について、早期に対象を中学校卒業まで引き上げるとともに、順次、年齢引き上げに向け努力するよう求める。本市の現状が通院、入院とも対象年齢が小学校6年生までであるのに対し、北摂7市の平成29年度の実施予定はどのようになっているのか。

答

平成29年度の北摂7市の実施状況は、箕面市が通院、入院の対

また、開設場所はどうか。ユースプラザはさまざまな生きづらさを抱える子ども・若者が、家庭や学校以外での信頼できる大人のかかわりを持つことで、自分らしくいられる場所を目指していることから、「第3の居場所」とも捉えることができる。開設場所については、子ども・子育て支援を推進する単位とした5ブロックを目安に、公募の受託事業者に実施場所を含め、事業提案していただく予定である。

答

また、開設場所はどうか。ユースプラザはさまざまな生きづらさを抱える子ども・若者が、家庭や学校以外での信頼できる大人のかかわりを持つことで、自分らしくいられる場所を目指していることから、「第3の居場所」とも捉えることができる。開設場所については、子ども・子育て支援を推進する単位とした5ブロックを目安に、公募の受託事業者に実施場所を含め、事業提案していただく予定である。

象年齢を高校卒業年度までの拡大を予定しており、その他の市については、豊中市での引き上げにより、本市を除き、通院、入院の対象年齢は、中学校卒業年度までになる予定と把握している。

自校直営の中学校給食を

問

中学校給食について、現状の選択制ではなく、自校直営方式による全員喫食の温かい給食の実施を求めるが、これまで2回実施したアンケートの結果をもとに、今後どのように検討していくのか。

答

平成28年度実施のアンケートの結果では、児童・生徒の5割以上が現状の選択制度を、保護者の6割が全員喫食を望んでおり、25年度実施

のアンケート結果と同じ傾向を示している。今後、さまざまな意見を踏まえ、学識経験者、PTA、市民団体等の意見を聞きながら、中学校給食のあり方について検討する。

高齢者移動支援の検討は

問

高齢者の移動支援について、市民から、山間部の交通支援、市内路線バスの増便、JR・阪急両駅間の乗り継ぎ券の発行等、さまざまな願いが届いているが、平成29年1月下旬から行っている移動支援の実態調査の結果を踏まえて、今後、どのような協議、検討を行っていくのか。

答

山間部等、公共交通が不便な地域での移動支援や、高齢により運転できなくなる高齢者に対する移動支援の検討が必要と考えている。今後、移動実態調査の結果を踏まえ、バス事業者とともに、公共交通の利便性を向上させる取り組みを検討する。



(※1) ユースプラザ：さまざまな支援を要する中学・高校生等の居場所と併せて、子ども・若者と保護者の相談機能を有する拠点として開設するもの

自由民主党・絆

下野 巖 (質問者)  
 福丸 孝之 上田 光夫  
 上田 嘉夫 中内 清孝  
 辰見 登

JR 駅エスカレーター設置の進捗は

**問** 駅前再整備について、JR 茨木駅エスカレーター設置工事が進められているが、工事に遅れが生じていると聞いている。現在、どのような状況なのか。

**答** エスカレーター設置工事においては、大阪方の階段を閉鎖し、京都方の北側に、新たに設置した仮階

市議会のうごき

1月

- 5日 幹事長会
- 11日 議会広報委員会
- 22日 市議会議員一般選挙

2月

- 3日 議員総会  
各派代表者会議
- 7日 本会議 (初日)  
各派代表者会議  
選考委員会
- 8日 本会議 (2日目)  
選考委員会
- 9日 本会議 (3日目)  
選考委員会  
各派代表者会議  
議会運営委員会
- 27日 議員総会  
幹事長会  
議会運営委員会  
正副委員長会

3月

- 3日 本会議 (初日)
- 7日 本会議 (2日目)
- 8日 本会議 (3日目)
- 9日 本会議 (4日目)
- 10日 本会議 (5日目)
- 13日 本会議 (6日目)
- 14日 本会議 (7日目)
- 16日 民生常任委員会  
建設常任委員会
- 17日 民生常任委員会  
建設常任委員会
- 21日 文教常任委員会  
総務常任委員会
- 22日 文教常任委員会
- 24日 幹事長会  
議会運営委員会
- 28日 本会議 (最終日)  
幹事長会  
正副委員長会

JR 新駅周辺の道路整備の考えは

段を供用開始したところ、朝夕の混雑が著しく、危険な状況となったため、現在、朝夕のみ大阪方の階段の一部を供用しながら工事を進めている。このことにより、工程の見直しを行い、平成29年春に予定していた供用開始が同年秋に変更となった。

問

総持寺付近に設置されるJR 新駅は、近隣地域の利便性の向上や地域の魅力向上につながるものと考えている。新駅周辺では、周辺整備工事が進められているが、新駅から北方向、国道171号に至る道路・歩道の改良状況について、市の考えはどうか。

答

JR 新駅から国道171号までの道路改良については、現在、阪



総持寺交番前付近

急総持寺駅からJR 新駅間で、水路のボックス化による歩道整備を施工しており、同様の工事を平成30年度より、順次、施工していく予定である。

患者急増時の混雑解消策を

問

夜間の小児診療は、高槻島本夜間休日応急診療所まで行かなくてはならないが、インフルエンザ流行時などは、大変混雑し、解消について相談を受けている。また、その対応策として、茨木市医師会との連携や市内在宅勤務医等への応援を依頼してはどうか。

答

夜間休日応急診療所では、高槻、茨木、摂津市の医師会及び大阪医科大学の医師により出務体制をとっているが、インフルエンザ等の流行時期には、どの小児科診療所も非常に混雑するため、医師の増員は困難である。また、在宅勤務医等の応援についても、流行時は同様の状態であることから、応援依頼等は困難である。

救急医療の充実と必要性の啓発を

問

今後増加すると予測される救急需要に対し、救急隊員の知識や技術の向上とともに、医療機関との連携を深めるべきではないか。また、救急要請の必要性についての啓発や周知は、どのようにしていくのか。

答

救急需要への対応については、救急隊員の資質の向上を目的に、医師との勉強会を行うなど、連携を深めていく。また、救急車の適正利用については、広報紙やホームページで周知するとともに、ポスターやリーフレットを使用した啓発を行っている。さらに、医療相談ができる救急安心センターおおさか#7119の利用についても引き続き啓発していく。



商店街や小規模事業者への支援は

問

市内の小規模事業者が事業継続困難となり、廃業する事例を耳

にする。小規模事業者が減少すれば、商店街も崩壊する恐れがあるが、商店街や小規模事業者への支援策をどう考えているのか。

答

商店街や小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、放置すれば衰退する恐れがあると認識している。このような状況に対応するため、金融支援や経営相談等の事業継続支援に取り組んでおり、新規出店者等に対しても、金融支援等の制度を設けている。また、意欲ある若者や女性等による創業の促進と成長を支援し、産業活力の維持向上を図っていく。



自治会加入促進への取り組みは

問

自治会への加入促進のために、6月を自治会加入促進月間として広報誌等で啓発を行っているが、自

本会議をインターネットで  
ご覧いただけます

本会議（定例会、臨時会）のライブ中継及び録画配信をインターネットで視聴いただけるとともに、市役所本館1階ロビーでもライブ中継します。  
(<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei/gikai/>)

茨木市議会 インターネット中継

市議会トップへ 操作説明へ

茨木市議会の本会議のライブ中継がご覧いただけます。

茨木市議会 平成24年12月定例会  
第1日 平成24年12月6日(木)  
開会 午前10時

日程第1 会議録署名議員の指名について  
日程第2 会期の決定について  
日程第3 議長の報告  
日程第4 議案第79号 専決処分につき承認を求めることについて(平成24年度大阪府茨木市一般会計補正予算(第4号))  
日程第5 議案第80号 茨木市教育委員会

ライブ中継スケジュール(予定)			
日時	曜日	時間	内容
12月6日	木	10:00~	本会議
12月7日	金	10:00~	本会議
12月18日	火	10:00~	本会議

前画面へ戻る

自治会の加入促進については、行政がどこまで先導できるものと考えているのか。また、地域課題解決のためにどのような仕組みを考えているのか。

答

これまで、自治会加入への啓発運動や自治会活動報奨金などの支援を行ってきたが、今後、自治会連合会の意見を聞きながら、モデル像を協議するなどの取り組みが必要と考える。また、まちづくり関連の専門家による分析を地域に還元することで、地域の方が、地域課題を検討できる仕組みを考えている。

公明党

河本 光宏 (質問者)  
大村 卓司 青木 順子  
松本 泰典 篠原 一代  
坂口 康博

阪急茨木市駅西口周辺の再整備は

問

阪急茨木市駅の西口周辺再整備等に向けて、市は策定中などの

計画に位置付けるのか。また、国や大阪府に対してどのように協力を求めているのか。

**答** 市の立地適正化計画等に位置付ける予定であり、平成29年度末に都市計画決定を行い、32年度からの工事着手を目標としている。再々開発事業となり、事例も少ないことから、これまで府や国と協議を重ね、都市計画決定等に一定の理解が得られたところであり、活用できる補助制度等の検討に取り組んでいる。



阪急茨木市駅西口付近

**子育て支援全般を重点政策へ**

**問** 待機児童の課題のみならず、まずは中学生までの子ども医療費助成制度の拡充、妊婦健診費用の全額公費助成、就学前幼保の保護者負担無料化など、子育て支援全般を重点政策

とする必要があると思うが、市の考えはどうか。

**答** 第5次総合計画の重点プランや総合戦略の基本目標として、子育てに対するさまざまな支援を掲げている。また、少子化・子育て支援施策の要望は届いているが、限られた財源をどの施策に分配していくのか等を施策・制度のあり方を含めて検討する。

**救急需要増加への対策は**

**問** 安心できる地域医療・救急医療体制の充実について、どのように進めてきたのか。また、市内での救急の受け入れが上限に達し、受け入れができないということであれば、今後増加が見込まれる救急需要に対して、どのような対策を考えているのか。

**答** 三師会（※1）等との連携を深め、在宅から救急まで包括的に提供される体制づくりを進めてきた。市内外を問わず、専門医師による救急診療に速やかにつながる事が市民の安心につながるものであり、その実現に向けて方策を検討していく。

**糖尿病重症化予防事業の効果は**

**問** 新たに糖尿病性腎症重症化予防事業が予定されていることは評価できるが、連携等の取り組みの特徴は何か。また、どのような広がりや効果が期待できるのか。

**答** これまで本市が実施してきた結婚・子育てに前向きになれる取り組みの結果等を踏まえながら、今後は、結婚を後押しできる取り組みを、

**答** 特徴は、地域薬局の薬剤師がコーチングスキルを習得し、医師と連携し、患者の疾病の改善、進行抑止や生活習慣の改善を図ることである。また、効果については、進行防止や改善により医療費の抑制につながることや、身近な薬局で生活習慣指導を受けることが可能になるものと考えられる。

**セラピー市としての取り組みを**

**問** 市北部や元茨木川緑地等の資源を活用し、セラピー市として取り組める要素があると考えます。このような取り組みにより市民の健康意識が高まり、健康づくりを推進できると考えるがどうか。

**答** 森林環境や緑を利用したセラピーは、心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指すもので、医学的根拠があるとされている。他市の取組事例を参考にしながら、事業効果について研究を進める。



元茨木川緑地（あやめ橋付近）

**若い世代の結婚の後押しを**

**問** 若い世代の関心が高い課題として、雇用・結婚・子育て支援があり、対策を望む若者の声が全国的に高まっている。本市においても、さらなる取り組みを期待するが、特に結婚についての対策はどのように考えているのか。

**答** これまで本市が実施してきた結婚・子育てに前向きになれる取り組みの結果等を踏まえながら、今後は、結婚を後押しできる取り組みを、

誰がどのように担っていくことが有効であるか庁内関係課と協議する。



（※1）三師会：茨木市医師会、茨木市歯科医師会、茨木市薬剤師会

第2回定例会

一般会計予算質疑



一般会計予算質疑を3月10日、13日、14日の3日間にわたり行いました。

主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、南館1階情報ルーム及び各図書館に設置している会議録をご覧ください。また、市議会ホームページでもご覧いただけます。(いずれも5月中旬予定)

自由民主党・絆

福丸 孝之

郷土教育の推進を

**問** 本市で生まれ育った方、縁を持ち続けたいと愛着を持っていただき、住み続けたいと思っております。また、学生で他市に行ったとしても、ぜひ茨木に帰って就職したいと思っております。そのためにも、郷土教育は欠かせないものと考えているが、市の認識はどうか。

**答**

本市の歴史や文化の魅力を幅広い世代に発信し、郷土の歴史に触れる機会を提供することが重要であると考えている。また、学校では児童・生

徒の発達段階に応じた学習を進めており、郷土である茨木に愛着が持てるように、現在の本市の生活や産業を学ぶとともに、歴史や文化に触れることが大切であると考えている。



本市の歴史的資料 (文化財資料館)

大阪維新の会

長谷川 浩

全員喫食へ向けた検討委員会設置を

**問**

文部科学省の学校給食実施基準は、全員喫食を大前提としている。また、単なる栄養補給だけでなく、教育的意義や役割も明確になっている。多くの自治体を取り組んでいるように、全員喫食導入に向けた議論を尽くすための検討委員会を設置し、中学校給食の基本方針を策定してはどうか。

**答**

他の自治体で取り組まれていることは把握しているが、今後の取り組みとして、平成29年度は、学識経験者、PTA、市民団体等のさまざまな立場の意見を聞きながら、中学校給食のあり方について検討する。その後、検討委員会の設置や、基本方針等の策定の必要性も含めて検討する。



民進ネット

安孫子 浩子

部落差別解消への取り組みは

**問**

平成28年12月に、国会において自由民主党、公明党、民進党の3党により議員提案され、賛成者多数で可決された部落差別の解消の推進に関する法律が施行されたが、この法律が施行されたことについての市の見解を問う。また、法律の趣旨に沿って、市としてどのように取り組んでいくのか。

**答**

市としては、法律の趣旨を踏まえ、部落差別の解消に向け、取り組んでいく。また、支援を必要としている人に対して、情報提供や相談支援を行うとともに、今後、同和問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため、研修会等を開催するなど、啓発活動に積極的に取り組んでいく。

自由民主党・絆

中内 清孝

専門医の市内病院への配置を

**問**

2次救急医療体制について、脳神経外科、循環器科では、受け

入れ病院が限られているため、受け入れ人数は非常に少ない。これは、それ



ぞれの科の医師が慢性的に不足しているためでもあるが、この状況を改善するために、市内病院への脳、心臓疾患等の専門医の配置を促進すべきではないか。

**答**

国の方針では、急病患者の入院治療に必要となる専門医を全国の各地域に過不足なく配置できるよう、2次救急医療機関は市町村単位ではなく、2次医療圏ごとに適切に配置することとなっている。市内病院だけではあらゆる診療科目に対応することは困難であるが、各病院との連携を深めながら、医療環境の改善に努めていく。

茨木市民フォーラム

米川 勝利

子ども・若者支援推進の機構改革を

**問**

昭和53年に青少年課が設置された背景には、深刻な非行問題があったが、そのミッションは時代とともに変わり、子ども・若者の問題は複雑・多様化している。現在は、こども政策課を中心に子ども・若者支援を進めているが、青少年課も密接した取り組みをしている。効果的な施策推進のため、2課を統合するなど機構改革が必要であると考えているが、市の見解はど

**答**

子ども・若者育成支援の推進については、各課連携のもと、その実践に取り組んでいる。今後、さらに実効ある体制構築のため、教育委員会とも調整しながら、機構のあり方を検討していく。

公明党

青木 順子

障がい者サポーター制度構築を

**問**

障がいのある人もない人も、共に安心して暮らせる共生のまち

平成 28 年度補正予算を可決

平成 28 年度 3 月補正予算が可決されました。  
なお、採決状況については、12、13 ページをご参照ください。

- 一般会計補正予算（第3号）  
1,200,535 千円を減額し、89,239,397 千円
- 財産区特別会計補正予算（第1号）  
52,782 千円を追加し、5,302,917 千円
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）  
8,905 千円を減額し、34,441,385 千円
- 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）  
91,836 千円を追加し、3,485,682 千円
- 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）  
413,531 千円を減額し、16,549,962 千円
- 下水道等事業会計補正予算（第2号）  
414,440 千円を減額し、11,406,519 千円
- 水道事業会計補正予算（第1号）  
59,177 千円を追加し、8,640,630 千円

日本共産党

朝田 充

解同優遇行政の是正を

**問**

部落差別解消推進法が成立したが、本市が特別に何かする必要

ダー的な役割を担う人材を育てることが重要であり、その仕組みや手法について研究していく。

**答**

障がいの種別、特性、個性等により、障がい者をサポートするためには、一定のスキルが必要である。障がい者を見守る、寄り添う、自立を支援するなど、地域社会で障がいについての理解を深めるには、リ

市議会  
だより

次頁へつづく

はないと考える。国・大阪府が示しているとおりに、新たな差別を生むような教育及び啓発、調査は行うことはできない。それどころか、過去の民間運動団体の行き過ぎた言動等、部落差別の解消を阻害していた要因を踏まえ、これに対する対策を講じることを要請されているが、市の見解はどうか。

**答** 本法の趣旨を踏まえ、同和問題を重要な人権問題の一つと捉え、引き続き取り組みとともに、今後とも新たな差別を生むことがないよう施策を実施していく。

大阪維新の会

萩原 佳

ふるさと納税の用途を明確に

**問** ふるさと納税は、本市を応援したいという想いに報いる制度であるとともに、取り組みをアピールすることで、選んでもらうのにふさわしい市のあり方を改めて考えるきっかけになる制度でもある。現状、寄附金の用途を選べないが、寄附者の想いを政策面から受けとめるために、用途項目を設け、選択できるようにしてはどうか。

**答** 具体的な用途を設けることは、魅力ある事業等のPRにつながる

るほか、応援したいという気持ちの誘発にも効果があるとの考えから検討を進めている。また、寄附による施策の向上をホームページで公開し、寄附者にも知らせることで、引き続き応援していただけるよう努力していく。



本市のふるさと寄附金お礼品カタログ

茨木市民フォーラム

桂 睦子

出資外郭団体等への課題認識を

**問** 本市では、行財政改革の流れの中で、平成24年の補助金改革等を経て、外郭・援助団体との関係を整理してきた。今後コンプライアンス、公共・公益の視点から、経営状況や協定・事業補助のあり方等を把握し、課題を認

識する必要があると考えるがどうか。

**答** 行財政改革指針の具体的な取組事項の一つとして、これまでも担当課が行財政改革の観点から経営健全化に努めてきた。そうした中、外郭団体の設立目的や市との連携における役割・行動、また市民サービス向上に寄与しているかなど、より公益性・公共性の観点から、健全化を判断する仕組みの構築が課題である。

公明党

篠原 一代

子育て応援アプリの導入を

**問** 子育て支援を補完する観点から、子育てに関するさまざまな情報のみならず、子どもの誕生日や住



議員の政治倫理条例の制定をめざします

平成29年4月12日開催の幹事長会において、政治倫理条例策定会議の設置が決定しました。これは昨年12月の本市議会定例会での決議を受けて、2年を目途に政治倫理条例の制定を目指そうというものです。

所に合わせた健診や予防接種を知らせるアプリの導入により、スマートフォンの情報に敏感な妊娠期から未就学までの子育て世帯の孤立防止や不安感を軽減することができると考えるがどうか。

**答** 保護者が日常的に使用しているスマートフォンを通じて、気軽に情報を取得できる子育てアプリは、効果的な情報伝達ツールの一つとして認識している。今後、子育て世代に必要な情報を迅速かつ適切に提供できるよう導入を検討する。

民進ネット

友次 通憲

市民会館跡地の更地活用を

**問** 市民会館跡地活用について、基本計画の策定から解体工事着手まで、3年4か月の期間を要する計画となっており、閉館からすでに1年2か月、合わせて5年弱も待つことになる。もう少し早期に解体工事に着手し、

その更地を北グラウンドと一緒に活用してはどうか。

**答**

スケジュールについては、PFI（※1）可能性調査を含めた標準的なスケジュールよりも、工夫を講じた、想定できる最短のものであると捉えている。整備までの更地活用については、活用可能な期間をはじめ、整備と一体的に解体するより、1億円程度の負担増となる可能性があるほか、周辺への影響などを含めて慎重に判断する必要がある。

公明党

坂口 康博

高齢者の特殊詐欺被害対策は

**問** 高齢者を対象とした特殊詐欺被害が年々増加している。特に、保険料や医療費の返金があるとする還付金詐欺が急増しており、被害件数・金額ともに前年よりも上回っている。こうした特殊詐欺被害を防止するため、市はどのような対策をしているのか。

**答**

ホームページや広報誌、庁内放送による注意喚起、また、国民健康保険料及び介護保険料納付書発行

時の送付用封筒に啓発文を印字するなど、注意喚起に努めている。また、今後、電話をかけてきた者に対して、警告メッセージを自動で流し、受話器応答時から録音する機器の無償貸与を予定している。



議会を傍聴しませんか

定例会は、6月、9月、12月、3月に開催します。本会議、委員会、所定の受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。なお、お子様連れでも安心して本会議を傍聴できるよう「特別傍聴室」（右下イラスト参照）を設置していますので、ご利用ください。

※詳しい日程等は市議会ホームページでご案内します。

平成28年度の傍聴者数

本 会 議	傍 聴 者 数
5 月 臨 時 会	0 人
6 月 定 例 会	87 人
9 月 定 例 会	25 人
12 月 定 例 会	47 人
2 月 臨 時 会	16 人
3 月 定 例 会	57 人
合 計	232 人



自由民主党・絆

辰見 登

救急に対する補助金廃止理由は

**問** 28万市民の命のために、24時間365日いつでも救急搬送の受け入れができる総合病院がない中で、これまで市内7病院に対して交付していた救急搬送に対する補助金を廃止し

た。この補助金を廃止した理由と説明責任については、どのように考えているのか。

**答**

補助金の廃止理由は、病院側の受け入れ能力の限界、新設可能な診療科目が出尽くしたこと、また、小児科の通年実施が困難であるため、補助金から報奨金制度とした。議会への報告をしなかったことは、対応不足であったと考えており、お詫び申しあげる。

(※1) PFI：公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法



# 3月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対)

件名	会派・議員名		自由民主党・絆			公明党			大阪維新の会			民進ネット			日本共産党			茨木市民フォーラム			結果										
	福丸孝之	下野巖	上田光夫	中内清孝	辰見登	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	篠原一代	坂口康博	大野幾子	塚理	長谷川浩	萩原佳	岩本守	安孫子浩子	稲葉通宣	友次通憲	田中総司		朝田充	大嶺さやか	畑中剛	桂睦子	小林美智子	米川勝利	山下慶喜			
平成28年度補正予算	平成28年度大阪府茨木市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	平成28年度大阪府茨木市下水道等事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成28年度大阪府茨木市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成29年度予算	平成29年度大阪府茨木市一般会計予算	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	否決		
	〔組み替え動議〕	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	否決		
	〔原案〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	可決	
	平成29年度大阪府茨木市財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度大阪府茨木市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	可決	
	平成29年度大阪府茨木市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度大阪府茨木市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度大阪府茨木市下水道等事業会計予算	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	否決		
〔組み替え動議〕	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	否決		
〔原案〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	可決	
平成29年度大阪府茨木市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	茨木市立コミュニティセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市営土地改良事業の施行について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の変更について(茨木松ヶ本線道路新設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## 請願

3月定例会に提出された請願は、総務常任委員会の審査を経て、3月28日の本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

- ◆請願第1号  
平成29年度給与所得等に係る市民税・府民税特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)への個人番号記載の中止を求めることについて……………【不採択】

だ市  
よ議  
り会



# 議会構成

(平成29年4月1日現在)

議長

上田 嘉夫

副議長

松本 泰典

総務常任委員会

委員長  
副委員長  
委員

河本 光宏  
下野 睦子  
桂本 守  
岩本 泰典  
松本 憲夫  
友田 嘉夫

文教常任委員会

委員長  
副委員長  
委員

長谷川 浩  
米川 勝利  
大嶺 さやか  
福丸 孝之  
大村 卓司  
稲葉 通宣  
山下 慶喜

民生常任委員会

委員長  
副委員長  
委員

大野 幾子  
畑中 剛子  
塚美智子  
小林 智子  
安孫子 浩子  
篠原 一登  
辰見 登

建設常任委員会

委員長  
副委員長  
委員

上田 光夫  
青木 順子  
朝田 充  
萩原 佳  
田中 司  
坂内 博  
中内 孝

議会運営委員会

委員長  
副委員長  
委員

下野 順子  
青木 浩  
長谷川 剛  
畑中 勝利  
米川 利子  
安孫子 浩子  
坂見 博  
辰登

北部地域整備対策特別委員会

委員長  
副委員長  
委員

中内 清孝  
篠原 一充  
朝田 美智子  
小林 佳  
萩原 宣  
下野 巖  
稲葉 通宣  
河本 宏

市街地整備対策特別委員会

委員長  
副委員長  
委員

大村 卓司  
安孫子 浩子  
大野 幾子  
畑中 剛子  
桂孝子  
福田 之  
上田 康夫  
坂口 博

議会広報委員会

委員長  
副委員長  
委員

福丸 孝之  
大村 卓司  
大嶺 さやか  
桂原 睦子  
萩原 佳  
稲葉 通宣  
篠原 代  
中内 清孝

茨木市監査委員

友次 通憲  
青木 順子

淀川右岸水防事務組合議会議員

安孫子 浩子

大阪府都市競艇企業団議会議員

岩本 守

茨木市都市計画審議会委員

上田 嘉夫  
長谷川 浩  
小林 美智子  
大村 卓司  
田中 総司  
松本 泰典  
朝田 充  
下野 巖  
青木 順子  
辰見 登

茨木市土地開発公社理事

塚理  
桂睦子  
坂口 康博  
大嶺 さやか  
稲葉 通宣  
中内 清孝

茨木市青少年問題協議会委員

長谷川 浩  
米川 勝利

茨木市空家等対策協議会委員

上田 光夫  
青木 順子

# 会派構成

(◎は各会派の幹事長)

自由民主党・絆

◎上田 光夫  
下野 巖  
中内 清孝  
福丸 孝之  
上田 嘉夫  
辰見 登

公明党

◎河本 光宏  
青木 順子  
篠原 一代  
大村 卓司  
松本 泰典  
坂口 康博

大阪維新の会

◎塚理  
長谷川 浩  
岩本 守  
大野 幾子  
萩原 佳

民進ネット

◎友次 通憲  
稲葉 通宣  
安孫子 浩子  
田中 総司

日本共産党

◎朝田 充  
畑中 剛  
大嶺 さやか

茨木市民フォーラム

◎小林 美智子  
米川 勝利  
桂睦子

会派に所属しない議員

山下 慶喜